

電機労働者懇談会

Electric Labor and Industry Correspondence

ELIC

2016年2月10日

No 338

1部100円

発行者：ELIC編集委員会谷口利男
142-0043 東京都品川区二葉2-20-8
電話(03)6421-5323 染野ビル2F
郵便振替00130-3-358078ELIC編集委員会

電機リストラに反撃し春闘勝利

電機労働者懇談会（電機懇）は電機・情報ユニオンとの共催で、1月30日（土）午後1時30分～5時にかけて都内「機械工具会館」ホールにて、「16春闘、1・30電機の集い」を開催しました。この集いには、12企業連・3団体から50人が参加しました。

司会は高田勝善電機懇副代表がつとめ、電機懇今井節生代表が「2年以上連続して実質賃金が下がり続け、大企業の内部留保は301兆円も溜め込んでおり労働者と下請け企業に

還元せよ。シャープを軸にした電機業界の再編を画策しているリストラだ」と主催者挨拶を行いました。

報告は、最初に電機懇16春闘「要求アンケート」に寄せられた591枚の集計結果の特徴について谷口利男電機懇事務局長が「生活の苦しさを65%の人が訴え、生活改善額で3万円以上を求める割合が75%になっており、加重平均で3万5600円を求めている」と強調しました。続いて、電機懇「16春闘提言」（2Pに要旨掲載）は井坂正敏電機懇政策委員長がポイント報告を行い、電機・情報ユニオンの「16春闘方針」を加藤孝書記次長が報告しました。

職場報告は、①日立から3年連続で過去最高の利益が見込まれているが職場実態は厳しくなっている。②東芝から経営者の粉飾決算の不祥事を工場閉鎖や早期退職と労働者に押しつけており反撃を開始している。③NECからスタッフ業務を子会社に移し1700人の本体労働者を外向させている。④沖電気から非正規労働者が70%もなっており処遇が悪く格安昼食で済ませている。⑤ルネサスから会長CEOの辞任など経営が迷走しており「ルネサスの明日を考える」政策パ



ンを準備している。などの報告が行なわれました。

講演は、「TPPと2016年の経済展望」と題して横浜国大の萩原伸次郎名誉教授に行なって頂き、オバマ政権と比較しながら実態経済を見ない安倍政権を痛烈に批判し、全国一律最低賃金を大幅に増額する事が日本経済を救うことになる」と指摘しました。

閉会挨拶は、電機・情報ユニオンの米田委員長が行い、東芝の粉飾決算はアメリカの原発メーカーWH社の買収疑惑から始まっており日米政権の疑惑を解明して反撃する必要性を指摘し、雇用とくらし地域経済を守ろうと訴え、がんばろう三唱で閉めました。

今月号の紙面

- ① 16春闘「電機の集い」開催
- ② 16春闘「電機の提言」要旨
- ③ 16春闘「経団連包囲」行動
- ④ 東芝青梅工場閉鎖反対宣伝行動
- ⑤ 「東芝の会」年次総会を開催
- ⑥ ラブラス「学問について」関谷さん
- ⑦ 電機情報ユニオン、青年コーナー
- ⑧ 16春闘「関西電機のつどい」
金属労働者春闘集会。集積回路